

2023年9月28日
ユーシーカード株式会社
株式会社NTTデータ

**ユーシーカード、NTTデータが提供する「ABLER Digital Services」の採用により
加盟店申込受付業務を抜本的に合理化
～ABLER Digital Services の新サービス「Web 申込サービス」をファーストユーザーとして利用開始～**

ユーシーカード株式会社(代表取締役社長:中西章裕、以下「ユーシーカード」)と、株式会社NTTデータ(代表取締役社長:佐々木裕、以下「NTTデータ」)は、NTTデータが提供する「ABLER Digital Services」の新サービス「Web 申込サービス」を、ユーシーカードがファーストユーザーとして採用することに合意し、ユーシーカードは2023年9月28日より本サービスの利用を開始します。

NTTデータは、ユーシーカード向けに「ABLER Digital Services」の機能をカスタマイズし、「加盟店申込受付～登録」までの一連の業務合理化をサポートします。

これにより、ユーシーカードは、加盟店申込受付から登録までの一連の業務において、対応する業務量を25%、従来の紙使用量を50%削減するとともに、登録までの所要日数を3日短縮できます。

ユーシーカードとNTTデータは、今後も加盟店からの機能改善ニーズを収集・分析することで、サービス標準機能の拡充を順次実現し、積極的に展開していきます。また、将来的には、両社の他サービス・他アプリケーションとの連携により、加盟店におけるキャッシュレス関連ニーズをワンストップで解決するサービスを目指します。

【背景・目的】

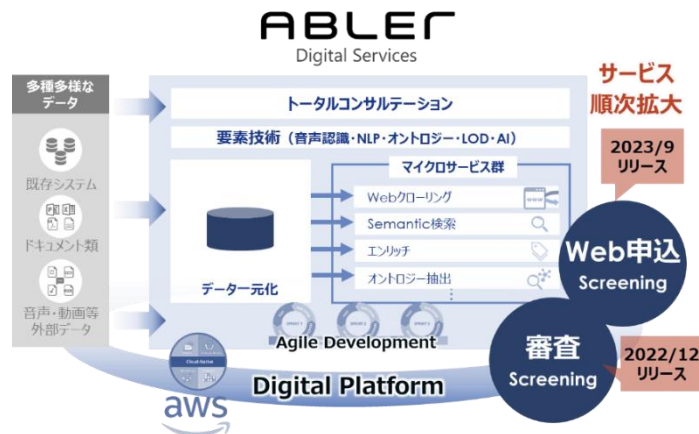
キャッシュレス決済市場の成長により、クレジットカード会社にとって加盟店獲得の機会は拡大傾向にあります。しかしながら、加盟店側では、「加盟店申込書の手書き記入」「記入済申込書の郵送」等、クレジットカード会社側では、「記入情報のシステム入力」「情報管理を徹底した申込書の保存・管理」等に多くの人手と時間を要しており、DX化の余地が残存していました。

NTTデータは、これらの課題を解決するために「ABLER Digital Services」を活用することで、加盟店・クレジットカード会社双方の利便性向上と業務合理化の実現を目指し、本サービスを新規リリースしました。

ユーシーカードは、加盟店申込業務における合理化効果が高く見込めることから、本サービスのファーストユーザーとして採用を決定したものです。

【サービス概要】

■ABLER Digital Services について



ABLER Digital Services は、自然言語処理技術(※1)やクローリング技術(※2)の活用により、非構造化データを含む未活用データのビジネス活用を支援するNTTデータのサービス「ABLER®」を SaaS 化したものであり、2022 年 12 月より法人審査サービスの提供を開始しています。

法人審査サービスは、BtoB ビジネスでの取引可否判定に必要な各種情報の自動収集や一定ルールでの判定、決裁までの一連プロセスを自動化することができます。また、契約後の取引先法人の管理もサポートします。

(※1)人が使用している言語(自然言語)をコンピューターで処理・分析する技術。

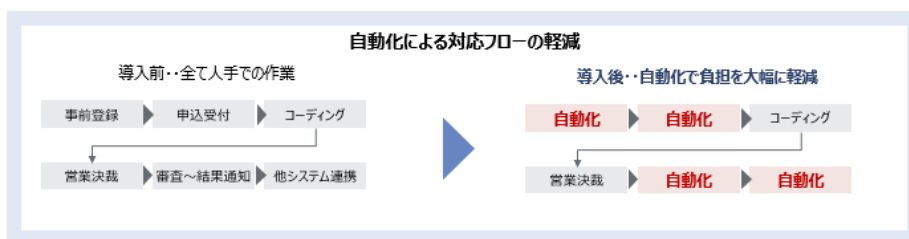
(※2)インターネット上の多数の Web サイトを自動的に検索対象として特定し、必要な情報の検索を行う技術。

■Web 申込サービスについて

Web 申込サービスは、2023 年 9 月に新規リリースする ABLE Digital Services のサービスで、Web での受付画面からワークフロー作成まで対応可能です。NTT データが開発したローコードソリューション(※3)をベースとしており、導入企業(今回の事例では、ユーシーカード)の要望に応じた画面を、プログラミング開発を行わずに作ることができます。ワークフロー機能についても、複数のフローを設定することができ、最短 3 か月で本サービスを導入することが可能です。

利用者(今回の事例では、加盟店・ユーシーカード)向けの入力補助機能も充実しており、郵便番号による住所自動反映、法人番号による法人名・法人住所の自動反映、金融機関名の絞込等、画面入力作業の省力化および入力作業の堅確化を図ることが可能です。

本サービスは、ABLE Digital Services の法人審査サービスとシームレスな連携が可能で、すでに法人審査サービスを導入済みの企業では、加盟店申込受付から審査までを一気通貫で行うことで、さらなる業務合理化・堅確性向上・所要時間短縮も可能となります。



(※3)プログラム開発を行わず、GUI(Graphical User Interface)による視覚的な操作でソフトウェア開発を行う手法。

【今後について】

ユーシーカードとNTTデータは、加盟店からの機能改善ニーズを収集・分析することで、サービス標準機能の拡充を順次実現し、積極的に展開していきます。また、将来的には、両社の他サービス・他アプリケーションとの連携により、加盟店におけるキャッシュレス関連ニーズをワンストップで解決するサービスを目指します。